

一般社団法人チカクのこと

社 名 :	一般社団法人チカク
設立年月日 :	2008 年 12 月 26 日
所 在 地 :	倉敷市茶屋町 353-42 〒710-1101
電話番号 :	080-2900-8110 (代表)
ファクス :	050-3488-4116
E-mail :	tikaku.desk@ekinotikaku.com あるいは ekinotikaku@gmail.com
代表理事 :	赤木美子 (090-2295-3420)
業務内容 :	子育て支援、地域活性化のための企画提案・実施運営・情報発信事業

一般社団法人チカク

- HP | <http://www.ekinotikaku.com/>
- Facebook | <https://www.facebook.com/tikaku.jp>
- Blog | ilovit.seesaa.net

ようちえんごっこ プチぱれっと

- <http://tikaku.sakura.ne.jp/palette/74>
- <https://www.facebook.com/petit.palette.okayama>

ちゃやっこひろば・チカク

- <https://www.facebook.com/Chayakko.tikaku>
- <http://goo.gl/Cw76K>

子ども防災ネットワークおかやま

- <https://www.facebook.com/kodomobousainet>
- <http://www.kodomobousai.net/>

まちづくりびと@倉敷

- <http://ellabo-2012.seesaa.net/>
- <https://www.facebook.com/kurashikimachi>

チボリ文化引き継ぐぞ

元従業員・赤木さん 倉敷に「受け皿会社」設立

チボリの文化財産を次世代に……。昨年末で閉園した倉敷チボリ公園の元従業員赤木美子さん(46)＝総社市泉＝が、子ども向けイベントやカルチャー講座などのソフト事業を引き継ぐ受け皿会社「チカク」を倉敷市に設立。公園が担ってきた公益活動を継承し、市民の生きがい創出や子育て支援、市街地の活性化を目指す。

子ども向け 催しや教室

一般社団法人(非営利型)として昨年末に登記し、今月六日から市のインキュベーション(起業支援)施設「くらしきベンチャーオフィス」(同市阿知)に



設立した「チカク」事務所でデスクワークをする赤木さん

現在は、天満屋倉敷店六階・市男女共同参画推進センター(同所)で、公園で開講していた淡彩スケッチ画やテ

らと遊ぶ「チルドレンズ・アート・プロジェクト」といった公園で行われてきた期間限定イベントにも取り組む。代表理事を務める赤木さんは、公園の元アシスタントマネージャー。閉園が決まった昨年八月以降、「ハードが無理ならせめてソフトだけでも守りたい」と受け皿組織の設立を決意。休日のたびに起業関連セミナーを聴講したり、行政や財界関係者に相談するなど培ったノウハウや人脈を駆使し、経営には素人ながら「公園の夢と感動を引き継ぐ舞台(赤木さん)を整えた。

計画。赤木さんは「閉園後に私たちができることを考えたかった。微力だけど倉敷を明るく元気にしたい」と話している。同社ホームページ(H P)は「http://www.ekinotikaku.com」。閉鎖した同公園の公式HPブログの一部も閲覧できる。問い合わせは、赤木さん(080-2900-8110)。(大橋洋平)

2009. 2. 19
山陽新聞

パブリシティ | 倉敷市長のブログ・アーカイブより

2009/12/08

16:30～ KCT新春特別番組収録



KCTの新春座談会を収録しました。今回のテーマは「市民と築く魅力」。マービーミュージカル代表の井伊五朗さん、一般社団法人チカク代表理事の赤木美子さんとともに、倉敷の魅力や子どもに伝えたい文化、市民参加イベントの魅力、国民文化祭などについて、楽しくお話をしています。収録した番組は、2010年のお正月に新春特別番組として放送されますので、どうぞお楽しみに！

パブリシティ | ミュージカル「ハンスの冒険」復活公演（川崎）

ハンスの冒険は1997年の開園時から上演されたオリジナル劇。経営再建策の一環で02年にいったん廃止されたが、根強い人気に支えられて再演を繰り返す。文化庁芸術祭賞などを受賞した横山由和氏の脚本・演出で第3作まで製作された。

閉園に伴い、著作権などの問題が絡むため、旧運営会社チボリ・ジャパン社は劇の封印を決め、衣装や小道具などを処分。しかし横山氏やチボリ元社員ら有志が「このままではもったいない。再び子どもたちに見てもらおう」と復活に向け奔走。月上旬に製作実行委を立ち上げ、協議を重ねた。

今回のストーリーは、第1作を中心に再構成。少年ハンスがカエル王子のヒビ

チボリ人気ミュージカル 「ハンスの冒険」復活

5月、川崎で公演

チボリの人気者ハンスが帰ってくる。倉敷市寿町にあった倉敷チボリ公園で人気を集め、2008年末の閉園とともに封印されていたミュージカル「ハンスの冒険」が復活する。製作・運営に携わった当時の関係者が実行委員会を設立。5月に川崎市で行うリバイバル公演に向け準備を進めている。

（大橋洋平）

倉敷チボリ公園で人気を集めていたミュージカル「ハンスの冒険」の一場面。2007年1月

キャスト

元チボリ社員で実行委メンバーの赤木美子・NPO法人チカク代表理事は「ハンスたちが子どもたちに元気と希望を与えてくれる。生まれ故郷・倉敷での公演もぜひ実現させたい」と話している。

公演は5月8、9の両日午前11時と午後2時、川崎市の昭和音楽大北校舎第1スタジオで開催。全席自由で大人2千円、4歳～中学生千円。問い合わせは赤木代表理事（080-2900-8110）。

山陽新聞(全県版) 平成22年(2010年)3月30日

山陽新聞 全県版 2010年12月26日
チボリ生まれ人気ミュージカル
ハンスの冒険“里帰り公演”
来年3月に倉敷、岡山

リビンダぐらしき 2011年3月5日
「倉敷発」世代を超えて愛されている
アンデルセン・ミュージカル
「ハンスの冒険」

3月19日(土)・20(日)、倉敷公民館で
山陽新聞 岡山市園版 2011年3月10
子ボリミュージカル19日から復活公演
「ハンス」に会いに来て

岡山県の保育園 主役が来場呼び掛け
山陽新聞 全県版 2011年3月20日

「ハンス」冒険再び

デジタル・マーケティング

倉敷で里帰り公演 復活後初

[illegible]

販売新聞 地域版 2011年3月20日

山陽新聞 全県版 2011年3月23日
「ハンスの冒険」陽気な舞台満喫
復活後の岡山初公演

チボリミュージカル19日から復活公演
「ハンス」に会いに来て
岡山の保育園 主役が来場呼び掛け

倉敷子ボリ公園で生まれたミュージカル「ハンスの冒険」が今月、岡山市内などで復活公演されるのを前に、主人公ハンス役の

交差した
 旗を手に
 又々愛國
 の人の國

[illegible]

千戸(せんご)すゑる(せうく
中幸生)千戸(せんご)に合
わねばは固法(こぽう)今カシ
(〇〇〇-〆〇〇〇-
8110)。(池袋直米)

チボリ公園歌劇復活公演

ハンスの冒険「倉敷発失いたくな

2008年末に閉園した倉敷市の倉敷すぼり公園内で開園した1997年から02年まで上演され、子どもたちの人気を集めたミュージカル「ハンスの冒険」の「復活公演」が19日、同市本町の倉敷公民館で行われ、当時を知るファンや家族連れなどでぎわった。

出稼きからの帰りの道に迷った主人公の少年「ハンコ」が、道中でカエルの王子と、狸の王様に出会いながら、母親や自分の家を探すストーリー。園内のことも劇中で上演され、02年に中止となったが、07年に開園10周年を記念し再演された。園の閉園後「貧乏鼠の女

化せんと欲はし」と同調
 の足踏舞をひたすら観
 念固執し「ふかふか」中
 となくして吉田・豊蔵市
 の親交(交遊)を企てしむ
 念誼は「いづへぞ」脚
 りな上手な舞々たらぬか
 テアとて観望を企てし
 合ひ「念誼全体で合詞」同
 市真備舞舞舞(市立舞団
 一市大舞舞舞)は「色々
 なきさうろたへない」楽
 しめだ」との喜び、同市
 給舞(市立舞舞舞)4年結
 光新舞(市立)は「以前に愛
 われず」舞舞舞(市立)は
 下「良か」とて美舞舞舞

「ハンスの冒険」
アンデルセン・ミュージカル
倉敷発、世代を超えて愛されている

花のつぼみは
 れじつまつた
 年。トトは
 家じやない。

[illegible]

主役のハンス

「ハンスの冒険～はたかたの王様様」

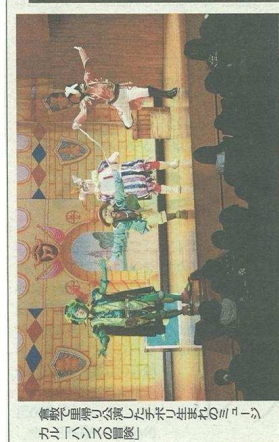
■日時	3/19 (土)	14:00 ~
		17:00 ~
	3/20 (日)	11:00 ~
		14:00 ~
■会場	倉敷公民館 (本町)	
■料金	2000円(4歳~中学生1000円)	



「ハンス」冒険再び

[illegible]

市で復活した。食穀市での公演は4年ぶり。
公演は20日に食穀会
民権、22、23日に山崎
新聞社さん大ホール
(岡山北地区)で各
日2回行われる。大人
2千円、子ども4歳〜
中学生1千円、問いわ
れはさくさく(080-
23600-8110)。
(内田清志)



倉敷で里帰り公演した子ボり生まれのミュージカル「ハンスの冒険」

[illegible]

で土漬。第3作まで制
また会えねー。2 作られ、ハズをばし
08年来に閉園しため、カエル王子、王様
敷子ホリ公園（倉敷
寿町）で生まれたミ
いキラタタと夢あ
地元関係が協力し
月末に岡山公演運轉
員会を立ち上げ議決
来年3月19、20日に
敷公民館（倉敷市

町）、同28、38日に
 陽新聞社と大木小
 (岡山市北区重田)で
 の会談が決まっだ。
 29、30の2日は由緒
 古く、同市出身、は
 い「更迭を望む」が強
 い。また「くろく」を
 びんがやむやみに来
 て「きい」で喧嘩あ
 っでた。
 名目、同会談で、大
 会を1日、予備1日
 候中學生 1千。問
 い合はば、出席人
 名カキ(080-28
 00-8110)。
 (大橋幸生)



「ハンスの冒険」は陽気な舞台活劇。復讐後岡山初公演。アムステルダムを離れて下鴨町にたどり着く。カル（ハンス）と幽霊が江戸・岡山市北區南馬場山崎新町に大ホテルと道邊に、昼夜同計約800人の客連れで毎日陽気に舞臺運んだ。

「ハンスの冒険」は2008年に開演した會社より宝島園蔵で主人公の少年ハンスや仲間たちの歌と

県外で観望し、4年ぶりの大阪公演。20日、21日に豊岡市でも初公演を行った。初観者たちは喜ばれ、子どもらは皆席から身を乗り出して

インターネット
http://www.sanyo.co.jp/r/
サンヨー観光バス株式会社
安全・安心・快適
予約・申し込みます
098-221-1222 岡山地区T&A31

ナカノ観光バス

さんぽ
 笑たはたす
 りよれ作
 品 昨春に
 踊りを施
 つばいに劇中のク
 々々体操に巧組んだ
 だ
 23日
 前日時
 後9時
 回ホール
 公衆た
 る。山
 町ヤート
 ヤンター
 (089)
 800-8
 3333。
 (平塚市)

んでいる。11月に倉敷市の保育園でモデル授業を開催。その模様を収めたビデオを使って3日、防災教育セミナーを岡山市で開く。(大橋洋平)

子ども向けプログラム開発、普及

卵の殻を踏み、がれきの危険性を学ぶ園児 11月
若竹の園

卵の殻踏み「がれき」体験／シートで包帯作り

保育園「若竹の園」での効果は高い」と話す。開かれたモデル授業は、防災教育セミナーは園児約50人が参加。3日午前10時から、岡山市北区駅元町のマママムに敷き詰めた卵の殻約200個分の上を、カリフォルラムで開ける恐る歩き、「痛い」催。モデル授業のビデオを見て防災教育について考える。定員25人を上げた。

国崎さんが「これがガラスだったら？」と問い掛けると、「危ない」「血だらけになる」。園生活で素足が多い幼児に、がれきの危険性を伝えた。

破ったシートでの包帯づくり、頭を守るダンゴ虫のポーズ」にも挑戦。国崎さんの軽快な語り口で盛り上がりながら、園児たちは災害の恐ろしさや対策、周囲への気配りなどを学んだ。

国崎さんは「体験させることで災害時にま

4-2155」。

県本部（086-254-2155）。

問い合わせは全労済

ず体が動く。人格形成の鍵を握る幼児期だからこそ、こうした教育

パブリシティ | ようちえんごっこプチぱれっと（茶屋町に新教室）

倉敷都市圏 2014年(平成26年)1月30日 木曜日

倉敷都市圏版

チカクが倉敷、岡山で保育サービス

未就園児預かります

一般社団法人チカク（倉敷市茶屋町）は、幼稚園に通う前の2～4歳児を預かる保育サービス「ようちえんごっこプチぱれっと」を倉敷、岡山市で展開している。経験豊富な保育士が常駐し、幼稚園に近い環境で子どもたちの仲間作りや遊びをサポート。子育て負担の軽減と教育効果の両立を狙った取り組みで、4月には倉敷市に3カ所目となる拠点を新設する。

「子ども同士の触れ合いは、コミュニケーション力を育む。就園前の子育てでは親子も家にもこもりがちなので、サービスを活用してほしい」と話している。問い合わせは赤木代表理事（080-29008110）。（鳥越謙一）

幼稚園に近い環境を整えた「ようちえんごっこプチぱれっと」の倉敷教室

チカクは、同サービス教室を構成し、子育て主婦小原江美さん（37）倉敷市福島は、移転拡張する。新年度の会員を募集している。茶屋町教室は、4月には新たに岡山市茶屋町に教室開設する。説明会を開く。時間は午後10時～11時半。赤木代表理事は

子育て負担軽減 教育効果の両立 4月茶屋町に新教室

チカクは、同サービス教室を構成し、子育て主婦小原江美さん（37）倉敷市福島は、移転拡張する。新年度の会員を募集している。茶屋町教室は、4月には新たに岡山市茶屋町に教室開設する。説明会を開く。時間は午後10時～11時半。赤木代表理事は

パブリシティ | ちゃやっこひろば・チカク（茶屋町に誕生）

岡山都市圏 2012年(平成24年)10月30日 火曜日

岡山都市圏版

自宅感覚 気軽に交流

子ども・学園@岡山・倉敷

新米パパ、ママいらっしやい。倉敷市茶屋町に新たな子育てスペース「ちゃやっこひろばチカク」が誕生した。民家をそのまま利用したスタイルで、自宅や知人宅の感覚で交流できる場としてにぎわっている。子育てスペースは、地域と親子を結び付ける市の事業で、市内6カ所目。一般社団法人チカク（倉敷市）が委託を受けて今月開設した。主に3歳までの乳幼児と保護者が対象。子育て経験のある保育士が常駐している。

室内には、スタッフが選んだ絵本や積み木、ぬいぐるみなどを用意。一緒に歌を歌ったり、絵本の読み聞かせを行ったり、昼食時は持参した弁当を全員で広げる。

倉敷・茶屋町 民家活用、子育てスペース誕生

「右」民家を利用した「ちゃやっこひろば・チカク」で親子一緒に遊ぶ様子

参加者同士で情報交換する。長男大和君（1）と訪れた主婦宮川りかさん（32）同所は「家のような雰囲気がある。引越したばかりで知り合いも少ないので、ぜひまた来たい」と笑顔を見せた。チカクの赤木代表理事は「子育てのちょっとした息抜きに遊びに来て、小さな悩み事でも気軽に相談してほしい」と話している。

開館日は月・火・金・土曜の午前9時半～午後2時半と、水曜の正午～午後5時。出入り自由。予約不要で無料だが、初回のみ本年度分の登録保険料500円が必要となる。誕生日会やアフフオーマミー対象といったイベントも随時開催。今後、季節の行事や育児講座、ベビーマッサージなども取り入れる。問い合わせは岡ひろば（070-50501730）。（大橋洋平）

LIVING

2014・4・26日 141冊

リビング
おがやま

岡山リビング新聞社
〒760-0001 岡山県岡山市中区1-12-1 岡山県会館ビル
086-237-2250 夜間部 090-118105

気軽に利用できる親子の居場所

ママも子どもも「ほっ」

子育て中のママと子どもが一緒に遊んだりくつろいだりできる公共の場所として利用が増えているという「ももこステーション」や「地域子育て拠点施設」をご存じですが、いったいどんな雰囲気とどんなことが行われているのか、2つの施設に足を運んでみました。

**ママ同士の距離が近い
アットホームな雰囲気の魅力**

ちゃやっこひろば・チャク

【実施日】 月・火・水曜 9:30～14:30、木・土曜 12:00～17:00
【実施場所】 倉敷市市民会館 3F342
【問い合わせ】 倉086-2050-7730 <http://www.ekindokko.com/>
【利用料】 無料（※参加費300円） ※一部のイベントは予約と参加費が必要

保育園や児童館と併設された子育て支援拠点が多いこの「ちゃやっこひろば・チャク」は、在宅母の一手交、とてもアットホームな雰囲気に惹かれていきます。通常は月曜～3歳児の利用が多らしいという間隔。取材に当たった日は「10歳児さんの日」「7歳児で遊びたてきたの?」や「しん!」「絵具展、よく覚えてくれる?」……ママたちの会話に花が咲き、皆さん自然と笑顔に。

今年2月20日から、約60名参加した「はな、夢、時は通4」日通うこともあつたそう。「笑顔と笑いあふ居場所、食卓に子育ての悩みを話しあう」……家で育ちたいという、食卓に子育ての悩みを話しあう……家で育ちたいという、食卓に子育ての悩みを話しあう……

子育て中のママと子どもが一緒に遊んだりくつろいだりできる公共の場所として利用が増えているという「ももこステーション」や「地域子育て拠点施設」をご存じですが、いったいどんな雰囲気とどんなことが行われているのか、2つの施設に足を運んでみました。

「ももこステーション」

2歳児子育て支援施設として、乳幼児世代の保護者が、気軽に楽しく子育てが、気軽に楽しく子育てが、気軽に楽しく子育てが……

「ももこステーション」は、2歳児子育て支援施設として、乳幼児世代の保護者が、気軽に楽しく子育てが、気軽に楽しく子育てが……

「ももこステーション」は、2歳児子育て支援施設として、乳幼児世代の保護者が、気軽に楽しく子育てが、気軽に楽しく子育てが……



チボリの経験 子らのために

「うたのおねえさん」として活動する
清水由樹さん(右)と倉敷市茶屋町



2008年12月31日、倉敷市のテーマパーク「倉敷チボリ公園」が経営難で閉園した。その5日前、園のイベント企画や植栽などを担当していた女性スタッフ数人が一般社団法人「チカク」を立ち上げた。園で学んだ接客などの経験を地域のために役立てようと、子どもを対象にした保育や防災の教室を活発に開き続けている。

元スタッフの女性らが社団法人

ハンスの冒険→うたのおねえさん

チカクは「チボリ公園のカルチャークラブ」の略称で、代表理事は、園でカルチャー教室担当だった赤木美子さん。現在、スタッフは保育士8人を含む14人にまで増えた。

清水由樹さん(34)は、チボリの名物公演だったアンデルセン劇「ハンスの冒険」で主演だった。今はチカクが開いている地域子育て支援センター「ちやっこひろば・チカク」(倉敷市茶屋町)の「うたのおねえさん」だ。

センターは0〜3歳までの乳幼児と保護者が対象。童謡、手遊び、簡単な体操などを楽しんでもらう。保育士の資格をもつスタッフも常駐しており、1時間300円から託児も受け付けている。

4月24日は母子3組が参加した。清水さんは電子ピアノを弾きながら歌い、子どもたちはリズムに合わせて体を揺らし、上機嫌だった。11カ月の長男と参加し

花木ツアーガイド→防災出前講座

た女性(32)は「家にいるとずっと子どもと二人っきりで、何をしようかと悩む。ここに來ると子どもも楽しそうだし、何より私も息抜きができる」と顔をほころばせた。

チカクは、ちやっこひろば以外にも、幼稚園入園を控えた子どもが対象の「プレ幼稚園」も4教室運営している。東日本大震災が起こった11年からは「震災の教訓を子どもたちに伝えたい」と防災をテーマにした出前講座にも力を入れている。

「へらへらっ」と地震が来たら、頭を守る。ダンゴムシのポーズだよ」
倉敷市広江5丁目の弘恵保育園で4月21日、チカク

の防災教室があった。先生役は防災士の資格がある三村芳恵さん。チボリ時代は園の植栽を担当し、園内の花木を紹介するツアーガイドも務めていた。優しい語り口で災害への対処法を説いた。「チボリで働かせてもらったので話すのは得意。少しでも役立つことを教えてあげられたら」

チボリ閉園から6年が過ぎた。赤木さんは「雨の日も風の日も、私たちは来園者を笑顔で迎えてきた。チボリはもうないけれど、そこで育まれた地域貢献の精神を守り続けている私たちの姿が、みなさんの励みになればうれしい」と話している。

(長川健)



自然災害への対処法を絵本で伝えるチカクの三村芳恵さん(左)と赤木美子さん(右)倉敷市広江5丁目

パブリシティ | ハンスの冒険 復活 (山陽新聞 2015/8/23)

25日までアリオ倉敷

ミュージカル「ハンスの冒険」の復活上演を楽しむ親子連れ



また会えたねー。2008年
末閉園の倉敷チボリ公園で
生まれ、親しまれていたミ
ュージカル「ハンスの冒険」
が、元スタッフの手で「復

活」。22日から、公園跡地
の商業施設「アリオ倉敷」
(倉敷市寿町)で始まった
催しで上演されている。
(角南邦彦)

元スタッフ 要望受け上演

ハンスの冒険はアン
デルセン童話をモチー
フとし、1997年の
開園時に誕生。母を探
す少年ハンス、カエル、
ブタの王様による冒険
を通し、友情や勇気の
大切さを描き、公園の
目玉の一つだった。
閉園後は県内では2
011年に岡山、倉敷
22日は3人で上演。

今回は「倉敷まちづ
くりびと展」(同市主
催)の一環で、25日ま
での期間中に正午と午
後2時半から上演。同
展では市民による地域
づくり活動を紹介する
パネル展示などもあ
る。



倉敷チボリ公園時代と同様に躍動感あふれる
ステージ

親子連れら100人以
上が集い、ハンスが元
気いっぱいに登場する
と、大きな拍手で迎え
た。チボリ時代同様に
躍動感たっぷりの舞台
を披露。ファンだった
という倉敷市西阿知町
の主婦森尾百里子さん
(44)は「感動した」と
笑顔を見せた。

チカクの赤木美子代
表理事は「多くの人に
喜んでもらえ、作品の
素晴らしさを再認識し
た」とし、不定期でも
上演の継続を考えてい
る。

旧チボリの人気ミュージカル 「ハンスの冒険」復活

月 日 年 第3種郵便物認可

倉敷チボリ公園オープン 1997年

1997年7月18日、JR倉敷駅北側に、デンマーク・チボリ公園の雰囲気を取り入れたテーマパーク「倉敷チボリ公園」がオープンした。クラボウ工場の跡地12畝に474億円をかけて建設。県出資の第三セクター「チボリ・ジャパン」が運営した。当初3年間は予想を上回る入

園者を集めたが、その後は伸び悩んだ。累積赤字は143億円まで膨らみ、2008年の大みそかに閉園。11年間の累積入園者数は1810万6852人だった。跡地には11年、「倉敷みらい公園」、大型ショッピングセンター「アリオ倉敷」、「三井アウトレットパーク倉敷」が相次いで出来た。

戦後 70 年 岡山の歩み

平成編③

赤字膨らみ 11年で幕

入り口前に設置した高さ20呎のからくり時計。今も動いている



約8万個の電球で浮かび上がった閉園当日の倉敷チボリ公園。1997年7月18日、いずれも倉敷市寿町、本社へりから



赤木美子さん(55)＝倉敷市茶屋町
東京生まれで、妹が東京デイズニールランド開業当時のスタッフだったんです。私が総社市に嫁ぐことになったとき、「岡山にはチボリ公園ができるからいいね」と言われて楽しみにしました。こちらに来てフリーライターをしていたとき、町

りませんでしたし、お客さんの中には「ミュージカルって何なら？」と言うお年寄りもいました。でも、大観覧車「チボリバルーン」は人気でしたし、日本では珍しい北欧料理のレストランもありました。

その後、セレニーの台本なども担当するようになってイベント企画室の正社員に。ミレニアムイベントを取りまとめ、園内でのカルチャー教室や広報宣伝も担当しました。閉園の時はアシスタントマネジャーでした。閉園を知ったときは、悲しみよりも「こんないい公園を次世代に残さなくていいのか」という怒りの方が大きかった。

私にとってチボリは地域社会に対する目を開かせてくれた存在。「閉園という廃虚の中から立ち上がって、楽しみながら社会に貢献できる事業を続けていかなくては。チボリが生きていくうちに、その灯を受け継ぎたい」。そう思ってから、一般社団法人「チカク」を設立しました。

チボリ公園の名物だったミュージカル「ハンスの冒険」の出演者。2007年、チカク提供



チカクは「チボリ公園のカルチャークラブ」の略。あれから7年。保育士さんらと子育て支援や防災の教室を開いているほか、チボリの名物だったミュージカル「ハンスの冒険」も再演しています。

閉園後は縁あって大原美術館で業務担当マネジャーをしています。美術館で子どもたちは何かを感じ、学びます。そこに新しい物語が生まれる。大原美術館は、そんなオンラインワンの場所です。チボリもそうでした。商業施設は雇用は生むけど、オンラインワンの場所ではない。あの場所から生まれる物語がなくなったのが残念です。(三浦宏)

10年早すぎた発想

森川政典さん(54)＝岡山市南区浦安西町

に誘われたのです。

チボリ公園はもと岡山市が、市制百周年記念に誘致しようとしたものです。当時、私は民放テレビの関連会社から出向して岡山市の記念事業のひとつのミュージカルを手伝っていました。そんな縁でチボリ誘致プロデューサーの秘書

次は28日付で「国内初の生体肺移植に成功」を紹介します。

地域の輪で子育てを

倉敷・茶屋町地区社協 9日、初の交流イベント

イベントの打ち合わせをする参加団体の代表者ら
2日、茶屋町公民館



倉敷市茶屋町地区社会福祉協議会は9日、子育て世代向けのイベント「茶屋町ウエルカムパーティー」を開く。若い母親らが家庭に閉じこもることなく、地域の輪の中で子どもをばべんできけるように、と初めて企画。近隣の子育て支援団体を紹介するとともに、参加者同士の交流を通じ、悩みなを気軽に語り合える仲間を見つけてもらう。(仁井名小百合)

茶屋町地区の人口は3人増加。茶屋町小学校の月末現在1万6351人。児童数は5月現在131人で、10年前に比べ約2千6人と市内63校で最多となっている。

町内会や民生委員、愛育委員などで2015年に発足した茶屋町地区協会は、他地域から移住してきたといった理由で、身近に相談相手が少ない、孤立しがちな状態で子育てしている住民もいると考え、イベントを立案した。

当日は「ちゃやっこひろば・チカク」(同市茶屋町)、「親子クラブ」(若竹会) (同)、「あまき子育て支援センター」(同市藤戸町天城) など、子どもと保護者の集いの場や育児支援拠点を運営している8団体の活動を紹介。倉敷自然育児相談所「べらん♡ま」(同市浦田)の村口裕美所長が、子どもとの関わり方について話す。

子ども連れで楽しんで

近隣支援団体紹介や語り合える仲間作り

もらおうと、木に絵を描き糸で引張って回す「ぶんぶん♡ま」作りやキルト作品の前で記念撮影できるコーナーも設ける。

茶屋町地区社会福祉支援部会長平田さん(53)「同市茶屋町」は「地域のひとと一緒に子育てできる環境を知ってもらい、気軽に誰かに相談できるようにながりをつくってもらえれば」と参加を呼びかけている。

午前9時40分～正午。入場無料で申し込み不要。問い合わせは平田さん(090-8608-6936)。

茶屋町ウエルカムパーティー
子育てするなら茶屋町で♪
2016年 6月9日(木) 9:40~12:30

プログラム
9:40~10:00 受付・参加者集合
10:00~10:30 茶屋町地区社会福祉協議会主催のイベント
10:30~11:00 各団体の活動紹介
11:00~11:30 親子クラブ・あまき子育て支援センター
11:30~12:00 ぶんぶん♡ま作り・キルト作り
12:00~12:30 記念撮影・お茶会

参加費 無料
申し込み 不要
問い合わせ 090-8608-6936

茶屋町ウエルカムパーティーのちらし

一般社団法人チカクは、2016年4月の茶屋町社会福祉協議会の設立と同時に子育て支援部会の一員となり、年三回の子育て支援部会のイベントの企画立案および広報宣伝活動を行い、地域子育て支援拠点として「地域支援」を積極的に行っています。

「茶屋町ウエルカムパーティー」は、ひろばや親子クラブに参加できない、あるいは存在を知らない、小さな子供のいる親子が参加しやすいように、また、地域の子育て支援団体が一堂に会する場として、企画しました。このあと、9月に「ちびっこミンキ祭」、12月に「茶屋町ふれあいクリスマス」の実施を予定しています。

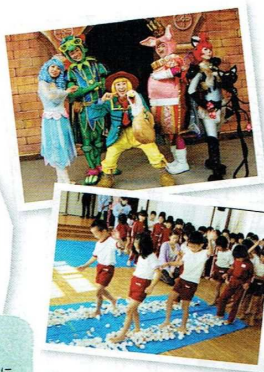


▲0～3歳児とその保護者が気軽に集まれる場所として誕生した「ちゃっこひろば」

「ちゃっこひろば」は、子育てに悩むママを応援する「チカク」ってどんな団体？
私が子育てで支援活動を始めたいきっかけは、「倉敷チボリ公園」での勤務です。小学校低学年の子どもの向けのイベント事業に関わっていたので、楽しく遊ぶ親子の姿を常に見ていました。しかし、同園が閉園することになり、こういった親子の憩いの場がなくなることを残念に思い、「一般社団法人チカク」を立ち上げました。
チカクでは、幼稚園に入る前の2～4歳の子どもの週1～2回お預かりする「ようちえんこっこ」プチぱれっとや、0～3歳の子どもの保護者が安心して集まれる広場「ちゃっこひろば」を運営しています。子育てで悩むママを応援する活動の一つとして、工作や外遊びなど、親子で楽しめる子育てイベントも開催しています。地域のコミュニティの中で様々な年代の人間と触れ合うことで、子どもはたくさん学ぶことができます。イベントを通して、様々な人にこの活動を知って欲しいと思っています。もし一人で辛そうだったり、助けが欲しいようなママを見つけたら「こういう場もあるんだよ、もっと周りを頼って良いんだよ」と教えてあげてください。誰かに話せば、きっと気持ちも楽になるはずです。

一般社団法人チカク
赤木美子さん

あかぎよしこ「倉敷チボリ公園」に11年勤務後、「チカク」を設立。子どもが健やかに育つよう、地域の子育てをサポートしている。
<http://www.ekinotikaku.com/>



▲上／「チボリ公園」で人気を博したミュージカル「ハンスの冒険」の復活公演もチカクで手掛けた
下／真剣に防災体験に取り組む様子

子育ての不安や悩みを忘れてホッとひと息、付ける場所。
イベントは誰でも参加できるワークショップ系だけではなく、幼稚園児を対象に子ども向けの防災体験プログラムも実施しています。瓦礫に見立てた卵のカラの上を歩いてみたり、ジャッキを使って人を救出したり、シートで包帯を作ったりと、どれもすぐ実践的なアイデアばかりです。4月に起きた九州地方の大地震のように、岡山でもいつか大地震が起こるかもしれない。その時に自分の命を守るように、ただ地震の怖さを教えるのではなく、自分の命を守ることがすごく大切なんだ、ということを感じてもらうために行っています。
親戚の家、仲良しのおばあちゃんの家のような感覚で「ちゃっこひろば」に遊びに来てください。保育士だけでなく、自身も子育て中のスタッフ、他の利用者のママなど、あなたの悩みを共有できる人がたくさん待っています。

パパ&ママの 子育て 応援隊!

「子育てに悩みはつきもの」とは言うものの、不安や心配を抱えるパパママも多いはず。そこで、悩みを軽減し、楽しく子育てできるように、子育て支援団体から育児についてアドバイスをいただきました!

子育てに悩むママを応援する 「チカク」ってどんな団体?

お話を聞いたのは……
「一般社団法人チカク」 赤木美子さん

私が子育てで支援活動を始めたいきっかけは、「倉敷チボリ公園」での勤務です。小学校低学年の子どもの向けのイベント事業に関わっていたので、楽しく遊ぶ親子の姿を常に見ていました。しかし、同園が閉園することになり、こういった親子の憩いの場がなくなることを残念に思い、「一般社団法人チカク」を立ち上げました。
チカクでは、幼稚園に入る前の2～4歳の子どもの週1～2回お預かりする「ようちえんこっこ」プチぱれっとや、0～3歳の子どもの保護者が安心して集まれる広場「ちゃっこひろば」を運営しています。子育てで悩むママを応援する活動の一つとして、工作や外遊びなど、親子で楽しめる子育てイベントも開催しています。地域のコミュニティの中で様々な年代の人間と触れ合うことで、子どもはたくさん学ぶことができます。イベントを通して、様々な人にこの活動を知って欲しいと思っています。もし一人で辛そうだったり、助けが欲しいようなママを見つけたら「こういう場もあるんだよ、もっと周りを頼って良いんだよ」と教えてあげてください。誰かに話せば、きっと気持ちも楽になるはずです。

donbla.
ドンブラッコ

CONTENTS 2016 June_August

イベント盛りだくさんの夏シーズン到来! 海へ山へと遊びに出かけるのも良いけれど、この時期は子どもが体調を壊しやすいので、体調管理には十分気をつけよう。そんな気になる子どもの健康や子育てに役立つ情報などなど、たっぷりご紹介します!

パブリシティ | チボリの人気ミュージカル 「ハンスの冒険」 復活上演
 10月15日～17日 「子どもに笑顔を」
 山陽新聞 倉敷・総社圏版 2016/8/24 岡山版 2016/8/27

2016年(平成28年)8月24日 水曜日

倉敷・総社

26

倉敷

チボリの人気ミュージカル

「ハンスの冒険」復活上演

古川さん(右)の指導を受けながら練習に励む出演者たち



2008年末に閉園した倉敷チボリ公園で人気を集めていたミュージカル「ハンスの冒険」が、同公園の元スタッフらによって10月、倉敷市内で「復活上演」される。出演者らは「子どもたちに笑顔届けたい」と練習に励んでいる。(仁井名小百合)

ハンスの冒険は、アンデルセン童話をモチーフに、母を探す心優しいピュアな少年ハンスと仲間のカエル、フタの王様らが旅をする物語。1997年の開園時から目玉の催しの一つとして、約4年間で上演された。

復活公演は、市民団体のまちづくり活動を紹介する「倉敷まちづくりびと展」(倉敷市主催)の一環として、チボリ元社員らでつくる一般社団法人チカク(同市茶屋町)が企画。10月15～17日、チボリ公園跡地の商業施設「アリオ倉敷」(同市寿町)で予定しており、チカクの赤木美子代表理事「総社市泉」は「ハンスの冒険を地域で受け継いでいきたいという思いを形にする一歩」と言う。

7月にキャストのオーディションがあり、県内外からミュージカルや演劇を勉強している学生、経験者ら男女16人が応募。高校生から40代までの男性2人、女性5人を選んだ。

7人は「ハンス ドラマティック ソサエティ」として活動をスタートし、6日の初練習には演出補の古川恭子さん(46)「和気町富」が振り付けなどを指導。それぞれが役になりきって、躍動感あふれる演技を繰り広げた。元劇団四季研究生の長谷川共洋さん(30)「総社市三須」は「演じられることにワクワクしている。和気あいあいとした雰囲気、僕たちなりのハンスを作り上げたい」と意気込んでいる。

元スタッフら企画

10月15～17日 「子どもに笑顔を」

アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」は倉敷チボリ公園を訪れる子供田日野ために、脚本・音楽・衣装・キャラクター設定も含め、すべて、オリジナルで制作された、いわば、「日本発倉敷ブランド」のライブ・エンターテインメントです。

2016年、オーディションから生まれたチームを私たちは「ハンス・ドラマティック・ソサエティ」と名付けました。息遣いの聞こえるワクワクするエンターテインメントを、気軽に、もっと身近に楽しめるように…。地域のなかで、三世代が一緒に笑って楽しめる場所として、可愛がっていただけるように…。そんな願いを込めました。

一般社団法人チカクはこのミュージカルを、さまざまな形で、地域のみなさまにお届けするために、これからも活動を続けていきます。

会社案内 2014 | 蛇腹9つ折りパンフレット (仕上がりサイズ、A4 三分の一サイズ)

[illegible]

ハンス
カエルの王子

兵衛
魔々

ピギー
ルルレ

ネコの娘

Vol.1 はなから王道編
Vol.2 A.D.の巻
Vol.3 夢ひびく夜